

女峰山山行報告

【山行日】2021年 11月 3(水) 晴れ

【集 合】栃木市運動公園P AM 4:00

【費 用】マイカー2台 : 2,600円

【メンバー】 CL:鈴木、SL齊藤

石澤、清水カ、関、廣瀬、福島、

【コースタイム】栃木市運動公園P4:00＝

行者堂P4:50＝霧降高原P5:25/5:45～

小丸山 6:20/6:30～赤薙山 7:30/7:40～

奥社跡 8:20～水場 9:20/9:30～女峰山

10:55/11:15～唐沢小屋 11:45/12:20～

黒岩 13:30～稚児ヶ墓 15:00～行者堂P1540/15:50＝霧降高原P16:30/16:45＝栃木市運動公園P 18:10



女峰山に霧降高原から登りたいとリクエストがあり、行者堂まで縦走するコースを計画した。



栃木市運動公園からワゴン車2台で4時に出発し、行者堂の駐車場に1台をデポする予定だが、駐車場が工事で使用されて止められない。仕方なく道路の広い場所を探し路上駐車して、もう1台の車で霧降高原駐車場に移動する。駐車場のトイレが閉まっていたが、シャッターを上げて使用することが出来た。準備を整えトイレを済ませ、ストレッチを行ったら出発する。空が明るくなってきて、ヘッドランプ無しで歩くことが出来る。高原ハウス前から「天空の回廊」1445段の長い階段を登って行く。

階段の途中で日の出を迎え、神々しいご来光に皆感激していた。階段を35分で登り切り、小丸山山

頂に着く。展望が良く丸山やこれから登る赤薙山、日光市街から関東平野まで大展望が広がっている。衣服調整と水分を補給し、笹原の尾根を赤薙山へ向かって登って行く。

笹原の中に幾筋かの道があり、歩き易い道を選びながら登って行く。途中、コメツツジの中に焼石金剛と呼ばれる石祠を通過し、さらに笹原の明るい斜面を見ながら登る。やがてコメツガなどの樹林帯に入り、北側を巻くように急登を登ると赤薙山頂に着く。三角点と赤薙山神社の鳥居や石祠があるが、樹林の中で展望は得られない。赤薙山から一旦下り、登り返すと気持ちが良い尾根歩きになる。



風は冷たいが展望が良く、気持ちよく歩ける尾根が続く。アップダウンを繰り返し赤薙山から2つ目のピークが奥社跡で、女峰山への道標が立つ。ここから少し下って登り返すと、一里ヶ曾根と言う女



峰山への稜線歩きとなる。北側の山々の紅葉が素晴らしいが、北風が吹き付けとても寒く感じる。尾根の南側に道が変わるとポカポカ陽気で汗が出るが、北側の道になると上衣を着ても寒く感じる。登山道に雪が出て来て、高度を上げるにしたがって雪が多くなる。水場を過ぎると右前方に目指す女峰山や帝釈山が見え始め、アルペンムードが漂ってくる。雪が多くなり滑らないよう慎重に進むと、山頂から下りてきた夫婦に声を掛けられる。「この先の岩場はアイゼンを付けないと登れない。」と言われ、「お二人はアイゼンを付

けたのですか？」と聞くと「私たちはアイゼン無しで登りました」との事。

それなら我々は登りだけなので大丈夫と判断し、そのまま女峰山へと向かう。確かに雪が多く、大勢に踏まれて圧雪状態で滑りやすい。

雪から出てる岩や木の根に足を置き、蹴らずに歩幅を狭くして静荷重静移動で登るよう指導する。周囲の木々は真白く霧氷が付き、朝日に輝いてとても美しい。「こんな景色の中登れてラッキーだね」と余裕の会話が聞かれる。最後の急峻な岩場はロープや岩を頼りに登りきり、日当たりが良い尾根歩きとなる。緩やかに尾根を登ると女峰山神社に出て、ほんのひと登りで女峰山山頂に着く。山頂からの眺望は



素晴らしく、男体山や太郎山、燧ヶ岳から会津駒ヶ岳などが一望出来る。眺望を楽しみ記念写真を撮ったら女峰神社まで下り、神社前のベンチでご褒美のプリンをいただく。今回は健脚が揃いコー



スタイムより50分早く登れ、難コースを登り切った達成感で皆さんの笑顔が弾けていた。

時間が早いので、唐沢小屋まで下って昼食を食べることにする。神社前からハイマツとオオシラビソの樹間を下るとガレ場の上部出て、ガレ場を慎重に下る。途中からガレ場を横切るようになり、左側の樹林帯に入って少し下ると唐沢小屋に着く。小屋の西側でランチタイムとし、お湯を沸かしてカップ麺やスープを作りおにぎりをいただく。煮タマゴやチャーシュー、唐揚げや漬物が並び超豪華なランチとなった。お腹が満たされたら下

山開始し、小屋の前で馬立への道を右に分け、左に樹林の中を二荒山神社方面へ下って行く。

ガレ場が2ヶ所あり、危険な個所を慎重に通過し、高低差の少ない樹林帯をしばらく下ると箱石金剛



に出る。ここから急降下の道を下り、展望が良い黒岩で小休止する。黒岩からは雲竜溪谷や赤薙山の眺望がすばらしい。この先は開けた笹原の道を下るが、笹が道を覆い藪漕ぎの下りとなる。膝から腰までの笹で登山道が見えず、倒木や段差に気をつけながら下るので時間が掛かる。延々と笹原の下りが続き、開けた水場ようやく笹が無くなるが、少し先から又笹が現れる。殺生禁断碑を過ぎると笹地獄から解放され、樹林帯の尾根を下るようになる。樹林の尾根を下

ると林道に出て、林道に下りずに左の道を進むと行者堂に出る。行者堂から左に石段を下るが、工事中で道路に出られない。仕方なく右に滝尾古道を下って行き、回り道してようやく道路に出て登り返し駐車場所に戻れた。

デポした車に乗り込み、霧降高原駐車場に向かう。途中、霧降高原の紅葉が見頃で、真っ赤に染まったモミジが夕日に照らされ美しかった。無事霧降高原駐車場に戻り、靴を履き替えトイレを済ませたら帰路につく。登りの標高差1300m、下りの標高差1700mのロングトレイルを縦走し、充実感に満ちた山行に大満足1日となった。

